

診断コードおよび原因

所在場所	説明	No.	原因
102	コマンド処理、メッセージ処理	2	インタフェース X2 のデータ送信エラー。
103	コマンド処理のコントロール	2	インタフェース X2 のデータ送信エラー。
104	コマンド処理、構成処理	2	インタフェース X2 のデータ送信エラー。
105	コマンド処理、出力メッセージの作成	6	現在選択されているアクセスレベルで認められていない機能、アクセス、コマンド。
201	受信プロトコルの処理	4	インタフェース X2 へ過剰にデータが送信されている。メッセージが新しいメッセージに上書きされている。
302	送信プロトコルの処理	2	表示データが長時間認識されないままになっている。
306	測定値の出力	5	前回のメッセージがまだ完全に出力されていない。
801	イベント処理	2	イベントメモリが読み込まれない、内部エラー。
805	イベントメモリに対するコマンドの処理	6	イベントメモリが転送されない。インタフェース X2 のデータ送信エラー。
1002	初期化中のモータコントロール	1	起動後、モータが規定の速度に達しない。内部エラー。
1002	初期化中のモータコントロール	2	起動後、モータ速度が一定でない。内部エラー。
1110	安全出力のテスト	4	安全出力(OSSD)が、スキャナが予期しない状態になっている。配線またはコントロールエラー。
1110	安全出力のテスト	5	安全出力(OSSD)を OFF できない。
1110	安全出力のテスト	6	安全出力(OSSD)を ON できない。
1111	安全出力の短絡テスト	7	接地における安全出力(OSSD)の短絡。
1111	安全出力の短絡テスト	8	Vcc における安全出力(OSSD)の短絡。
1606	モータ速度監視	4	モータ速度の偏差、ゼロパルスが正常に検出されない、内部エラー。
1607	スキャン時間の監視	5	モータ速度の偏差、モータが規定の速度ではない。

所在場所	説明	No.	原因
1705	領域を監視する光バリアデータの処理	1	フロントウィンドウによる監視において、光バリアの信号が下限値未満。フロントウィンドウの汚れ。
1705	領域を監視する光バリアデータの処理	2	フロントウィンドウによる監視において、光バリアの信号が上限値を超えている。フロントウィンドウ上に液体が付着している。
1906	外部監視機関のテスト	1	監視機関が安全出力(OSSD1/2)を有効にしていない。配線またはコントロールエラー。
1906	外部監視機関のテスト	2	監視機関が安全出力(OSSD1/2)をOFFしない。内部エラー。
1906	外部監視機関のテスト	5	安全出力(OSSD)が、スキャナが予期しない状態になっている。配線またはコントロールエラー。
1906	外部監視機関のテスト	6	監視機関がレーザの遮断パスを切り換えれない。内部エラー。
1907	外部監視機関のテスト	4	監視機関により検出されたイベント、監視機関がOFFしている。(モータ速度の偏差)、スキャナのハウジングが回転している。
1907	外部監視機関のテスト	7	監視機関により検出されたイベント、監視機関がOFFしている。(モータ速度の偏差)、スキャナのハウジングが回転している。
2002	パラメータコマンドの処理	12	表示データが長時間認識されないままになっている。
2007	受信したパラメータデータの照合	18	現在転送されている検出ゾーンの日付がスキャナの検出ゾーンの日付より古い
2201	エリア監視	5	モータ速度エラーまたは監視機関がOFFしているため、スキャン測定回数が少なすぎる。内部ヒューズエラー。
2302	ソフトウェアの順序のコントロール	1	スキャナ起動時にエラー発生。順序エラー。
2401	黒っぽい検出物体の参照測定	10	参照測定のための距離値が計算できない。他光源からの光(905nm)またはモータ回転速度の偏差。

所在場所	説明	No.	原因
2401	黒っぽい検出物体の参照測定	13	参照測定用の削除可能な値が計算できない。コネクタハウジングまたはダミーコネクタがビス止めされていないため、スキャナにホコリが入っている。
2402	白っぽい検出物体の参照測定	10	参照測定用の距離値が計算できない。他光源からの光 (905nm) またはモータ回転速度の偏差。
2701	システム診断のメッセージ処理	1	無効な診断コマンドを受信した。ソフトウェアとファームウェアが適合しない。
2702	診断データの要求処理	3	無効な診断値が要求された。ソフトウェアとファームウェアが適合しない。
2800	検出ゾーン切り換えの入力処理	2	2つの検出ゾーンが1秒以上アクティブな状態。
2800	検出ゾーン切り換えの入力処理	3	検出ゾーン切り換え動作がスキャナにプログラムされた条件と一致しない。
2800	検出ゾーン切り換えの入力処理	4	動作中に2つ以上の検出ゾーンが選択された。
2800	検出ゾーン切り換えの入力処理	6	検出ゾーンをアクティブ化するには判断不可能なデータまたは欠陥のあるデータ。
2800	スキャナ動作中の入力処理	8	スキャナ動作中に検出ゾーンがアクティブになっていない。
2801	検出ゾーン切り換えの入力テスト	1	検出ゾーン切り換えの入力テスト中のエラー、内部エラー。
2802	検出ゾーン切り換えの初期化	3	検出ゾーン非アクティブ化の動作がスキャナにプログラムされた条件と一致しない。
2802	検出ゾーン切り換えの初期化	4	電源 ON 時に2つ以上の検出ゾーンが選択された。
2802	検出ゾーン切り換えの初期化	6	検出ゾーンを非アクティブ化するには判断不可能なデータまたは欠陥のあるデータ。
2802	電源 ON 時に入力の初期化	8	スキャナ起動中に検出ゾーンがアクティブになっていない。
3016	ワンタイムパスワードのアクセス権の監視	11	ワンタイムパスワードの誤入力。

SUNX株式会社

URL : sunx.jp

本社 〒486-0901 愛知県春日井市牛山町2431-1 ☎ <0568>33-7211

技術相談テレホンサービス ☎ 0120-394-205

技術相談FAXサービス ☎ 0120-336-394

受付時間：月曜日から金曜日の9時～12時および13時～17時
(但し、祝日、年末年始等を除く)

MJ-SD3A1CAU No.0008-88V

2008年7月